

C01a 「公開講座・一般公開」に関するアンケート調査

沢 武文(愛知教育大)・加藤万里子(慶応義塾大)

最近,いろいろな大学や研究機関で,一般市民を対象にした公開講座や一般公開,観望会,高校生を対象にした天文セミナーなどを定期的に行うところが増えてきている.また,現在はまだそのような活動を行っていないが,近い将来には実施したいと考えている大学や研究機関も少なくないと思われる.そこで,この企画セッションでは,それぞれの大学や研究機関で行っている公開講座・一般公開などの活動について情報交換を行い,内容,方法,問題点などを明らかにし,これまでに蓄積されたお互いの運営のノウハウや問題点の解決方法などを共有する.

公開講座・一般公開などの現状を事前に明らかにするため,天文学会メーリングリスト tennet を利用してアンケート調査を行った.その結果,2000年4月以降に何らかの活動を行っているとの回答を得た大学や研究機関は6月25日現在で14組あり,延べ52の活動が報告された.活動の種類としては,公開講座,施設公開,観望会,高校生を対象にした集中セミナー,オープンキャンパス,高等学校への出前授業など多種多様で,大学や研究機関がそれぞれ工夫した活動を行っていることが伺える.

その反面,このような活動をボランティアで行うスタッフや大学院生などの負担が大きく,また,観望会や屋外展示などは天候に左右され,十分な活動ができない場合も多いという問題点や悩みがあることがわかる.このような問題点や悩みについても,この企画セッション全体で議論し,解決の糸口を見つけることができるようにしたい.